

報告事項コ

企画展 「サルとヒト ―ヒトってなんだろう?―」の開催について

企画展 「サルとヒト ―ヒトってなんだろう?―」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成25年6月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

企画展「サルとヒト ―ヒトってなんだろう?―」の開催について

平成25年6月28日
博 物 館

- 1 概 要** 我々人類は、ニホンザルやチンパンジーなどと共に「霊長類」というグループに含まれる。前を向いた両眼や器用な手指などといった様々な共通点を持つ他、直立二足歩行や大きな脳、少ない体毛など現代人に独特な特徴も見られる。
この企画展では、大きなゴリラや小さなネズミクツネザルをはじめ、世界のサルの様々な姿やくらしぶりを紹介し、700万年にわたる人類進化の歴史や、類人猿の行動研究についての最新の知見を通してサルとは何か、ヒトとは何か、について考える。

展示構成と主な展示資料

- 第1章：サルとヒトのなかまたち
チンパンジー、ニホンザル、エンペラータマリン、ハイイロネズミクツネザル
- 第2章：サルとヒトがたどった道
初期霊長類の実物化石及び化石複製、カナガワピテクス頭骨化石複製
- 第3章：くらしとかたち
スローロリス、シロテテナガザル、ワオキツネザル、テングザル、マントヒヒ
- 第4章：ヒトってなんだろう？
各種人類化石複製：サヘラントロプス、アフール猿人、ネアンデルタール人、フローレス人、ホモ・サピエンス、チンパンジーの行動実験映像
- 特別コーナー：とつとりとサル
伊谷純一郎博士紹介パネル・ゆかりの品、青谷上寺地遺跡出土サル頭骨、サルの民話、ほか

- 2 会 期** 平成25年7月13日（土）～8月25日（日）（44日間、会期中無休）
午前9時～午後5時（土・日・祝日は午後7時まで）

- 3 会 場** 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

- 4 入 場 料** 一般700円（団体・前売500円）／小・中学生、高校生、学生は「無料」
※入館料免除：学校教育活動での引率者、障がいのある方・要介護者等及びその介護者、70歳以上の方

- 5 協 力** 青谷上寺地遺跡展示館、神奈川県立生命の星・地球博物館、京都大学野生動物研究センター、群馬県立自然史博物館、国立科学博物館、財団法人日本モンキーセンター、鳥取県埋蔵文化財センター、林原自然科学博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館

6 関連事業

- 講座（自然・歴史コラボ企画）「石器をつくろう！」
講師：東方仁史（当館学芸員）
日時：平成25年7月21日（日）午前10時～午後3時、会場：県立博物館会議室
対象：小学校高学年、定員：20名（申込不要）、参加料：100円
- 演奏会「アフリカンミュージック・コンサート」
演奏：アラマ・ジュバテ（アフリカ伝統音楽ミュージシャン）
日時：平成25年7月28日（日）、午後1時30分～3時
会場：県立博物館講堂、対象：一般、定員：250名（申込不要）、参加料：無料
- 特別講演会「とつとりとサル学 ―世界をリードする日本の霊長類研究―」
講師：伊谷原一（京都大学野生動物研究センター）
日時：平成25年8月10日（土）午後1時30分～午後3時30分
会場：県立博物館講堂、対象：一般、定員：250名（申込不要）、参加料：無料